

校内研修計画

山梨市立後屋敷小学校

1 研究主題 思考力・判断力・表現力の育成

～言語活動の充実をめざして～

2 学校課題と主題設定の理由

○時代の要請から

平成20年に新学習指導要領が示され、子どもたちの「生きる力」の育成が継承された。それとともに、思考力・判断力・表現力を育むこと、理数の力を育むこと、社会の進展に対応した教育を行うことなど学校で学ぶ内容の充実がいくつか掲げられた。さらに、各教科等における充実した学習指導、つまずきやすい内容の確実な習得を図るための繰り返し学習、知識・技能を活用する学習などに向け、授業時間の増加も行われた。教育基本法改正により、学力の重要な3つの要素（基礎的な知識・技能をしっかりと身につけさせること、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むこと、学習に取り組む意欲を養うこと）の育成も示されている。つまり、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力等の育成をすることが必要になってきている。

○学校教育目標から

本校は学校教育目標を「心身ともに健康で 人間性豊かな たくましい子どもの育成」とし、「よく考え進んで学ぶ子(知育)」「心豊かな思いやりのある子(徳育)」「健康でたくましい子(体育)」のめざす児童像を掲げている。経営の努力点としては、学習指導要領の趣旨を生かし、確かな学力の向上を図ることを挙げている。自分で考え、友だちの考えと比べながら、よりよい考えを追求していく学習過程の中には、これら学校教育目標につながる要素があると考えられる。

○児童の実態から

本校の子どもたちは、全体的に明るく素直で、与えられたことには前向きによく取り組む児童が多い。また、子どもらしい面も持ち合わせ、友だちと元気に活動したり、上級生が下級生の面倒をみたりする姿もよく見かける。学級によっては児童数が40名近くであったり、個別の支援を必要とする児童も比較的多かったりして、日々精力的な指導が行われている。自ら進んで学習に取り組み、自分の考えや調べたことをまとめたり、表現したりすることに課題が残っている。

○研究の経緯から

本校では、数年前より、『思考力、判断力、表現力の育成』をめざした研究を継続してきている。昨年は「国語科・算数科・英語科における言語活動の充実をとおして」とサブテーマを設定して、研究を進めた。実際の授業では自分の考えを分かりやすく発表したり、自分の解釈に沿って相手に伝わるように音読をしたりする活動から思考力や表現力の向上が見られた。また、意図的に自分の考えを発表する場を設定することで、児童が言葉で表現することへの抵抗感も以前に比べ薄らいできた。しかし、出された意見に対して、さらに考えを膨らませようという学び合いの姿勢がまだ十分に育ってはいないなど、課題が残っている。そこで、今年度もさらに言語活動の充実を図っていくことにより、思考力・判断力・表現力の育成に迫っていきたいと考える。

これら4つを受けて、本校の研究主題を『思考力・判断力・表現力の育成 ～言語活動の充実をめざして～』と設定して、研究を進めていくこととした。

3 研究内容について

○各教科等の特性を生かした「言語活動の充実」のための理論研究

○授業実践

各教科等のねらい，特性に即して言語活動を考える

思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動を取り入れる

○児童の実態分析と指導法の改善

山梨県学力把握調査（3,5年），全国学力学習状況調査（6年）の結果分析から，児童の実態把握をする。授業づくりの視点や指導法の共通理解を図る。

4 研究方法について

- ・授業実践を通して研究を深める。
- ・ブロックごと1本の授業研究をもつ。
- ・[低学年部会][高学年部会]の2ブロックを基本にして，授業研究を行う。
- ・部会研究の内容を交流し合い，共通理解を持つ。
- ・一人一実践の取り組みとして，全学年の授業を公開し合う。

5 年間校内研修計画

廣瀬 明子

月	日	曜	回	主な内容	担当	TC要請
4	9	水	第1回	研究の方向性について	全体	
	16	水	第2回	校内研究の全体計画について・ブロック研究 *各ブロック長，授業者の選出，課題等	全体・	
	30	水	第3回	主題に関わった研究	全体	
5	14	水	第4回	主題に関わった研究	全体	
6	25	水	第5回	各ブロックの研究	ブロック	
7	2	水	第6回	各ブロックの研究（一人一実践）	ブロック	
	9	水	第7回	英語科授業案作成	各担任	
8			第8回	特別支援教育に関する学習会	全体	
	13	水	第9回	教育課程還流報告・夏季研修	全体	
9	3	水	第10回	各ブロックの研究・ブロック内授業案検討	ブロック	
	10	水	第11回	①授業案全体検討	全体	
10	8	水	第12回	各ブロックの研究（一人一実践） 学力向上に向けての研究	全体・ブロック	
	15	水	第13回	各ブロックの研究（一人一実践・ブロック内授業案検討）	ブロック	
	29	水	第14回	授業研究①	全体	◎
11	5	水	第15回	②授業案全体検討	全体	
	19	水	第16回	授業研究②	全体	◎
12	3	水	第17回	各ブロックの研究（一人一実践）	ブロック	
1	28	水	第18回	一人一実践の全体報告，紀要作成に向けて	全体	
2	25	水	第19回	研究のまとめと来年度の方向性について	全体	

3	4	水	第20回	研究紀要作成	
---	---	---	------	--------	--